

老健があるからできる

精神科病院と



Irisawa Makoto

Inatsu Kayoko

油山病院
院長
入澤 誠

いりさわ まこと

福岡大学医学部卒。福岡大学医学部精神医学教室入局、西園昌久名誉教授に師事。福岡県立太宰府病院(現福岡県立精神医療センター太宰府病院)、伊敷病院(鹿児島市)勤務を経て1999年福岡大学医学部精神医学教室助手・ディケア医長。2002年油山病院勤務、統合失調症の治療・リハビリテーション、勤労者のうつ病・復職支援などに取り組む。2020年4月油山病院院長に就任。

介護老人保健施設からぎステーション施設長

稲津佳世子

いなづま よこ

九州大学医学部卒。心療内科医として臨床経験を積んだのち、福岡空港検疫所支所を経て九州大学医療専門職大学院に進学。医療ネットワーク学講座、医療システム学教室で医療者と患者・市民の懸け橋となる人材養成を研究。認知症などの訪問診療クリニックなどを経て、福岡病院精神科で統合失調症や精神科一般について研鑽を積んだ。2021年4月よりからぎステーション施設長に就任。

精神疾患や認知症の周辺症状は、それを患う患者さんご自身だけでなく、支えるご家族の生活にも深刻な影響を及ぼしているケースが少なくありません。また、ご家族にとっては入院、入所する施設がたとえ見つかったとしても、転院による環境の変化や移動の負担などがどうしても発生します。

私たちはこれまで高齢の患者さんやご家族が抱える様々な問題を軽減すべく、法人の同一敷地内にある施設の医療資源を最大限に活用することにより、ご利用者やご家族の生活の質の維持が可能になるよう考えてまいりました。

当法人が平成9年に開設した介護老人保健施設からぎステーションでは、精神科のノウハウを活かした看護・介護を行うとともに、当初より認知症に特化したリハビリテーションについて継続的に取り組み、専門職が一致協力してご利用者の心身機能の改善のために日夜励んでおります。

そして、当法人の最大の強みは、症状が悪化しても併設の病院において速やかに治療を終え、老健に戻っていただくことが可能な点にあります。

私たちはこれからも長年培ってきた技術と連携により、認知症の方々やそのご家族の日々の生活がより快適となるよう全力でサポートしてまいります。

医療法人浜江堂 理事長

三野原 義光

安心して暮らせる
地域包括ケアの
実現のために

チーム一丸となって

早期退院

をめざす

精神科救急病棟



様々な精神疾患に対応。高齢精神疾患も。

当院は精神科救急病棟と急性期治療病棟（いずれも入院期間は原則3か月）を有する精神科病院として早期回復・退院をめざす入院治療を行っています。

なかでも、近年増加している高齢者の精神疾患は認知症を合併することもあり、質の高い診断体制と総合的な支援体制が求められています。当院の「もの忘れ外来」では日本認知症学会専門医による認知症の診断、薬の調整や入院による認知症周辺症状の緩和に努めています。

治療とリハビリテーション

精神科救急・急性期では薬による治療が基本になりますが、できるだけ早い時期から精神科リハビリテーションを積極的に組み合わせた治療を行います。入院期間のなかで精神症状を寛解させ、患者さんやご家族と治療者が治療方針を共有し、疾患に応じた精神科リハビリテーションを行うことが治療効果を生むと考えています。医師をはじめとして看護師、薬剤師、臨床心理士、作業療法士、管理栄養士、精神保健福祉士など多職種が集中的多面的にかかわり、退院を促進しています。

退院後の生活も見据えて

退院後も外来通院やデイケア、精神科訪問看護、併設の老人保健施設などの資源で、症状の安定化、生活機能の維持・回復、栄養管理、経済的な問題の解決などをサポートします。患者さんが地域で安定的に自立した生活を送りながら、常に医療のサポートが受けられるように、当法人は安心・安全なシステムや環境を提供し続けます。

■施設外観



精神科・内科
油山病院

精神保険指定 応急入院指定

〒814-0171 福岡市早良区野芥5-6-37

TEL.092-871-2261 FAX.092-863-2641

許可病床数 280床
診療科目 精神科・内科
専門外来 もの忘れ外来(診療日:毎週火・水曜日)
診療時間 平日 9:00~12:30 13:30~17:00
土・日曜日・祝日 年末年始 休診(急患対応可)

詳しくはWEBで 検索

医療法人浜江堂広報誌「みんなだよりPlus」

2023年9月発行 発行・編集/医療法人浜江堂

対談

対談開催日
2023年7月14日

高齢者の精神疾患は難しい？

司会 ● 高齢者の診療で、難しい点は？

入澤院長 ● 高齢者は色々な人生経験をすることで、友人や親族を失うなどのつらい体験をしたり、仕事など社会参加も減ってきたりします。体の病気も多い。すでに認知症という診断がついている方も、別の病気が重なっている場合もありますから慎重に診ていきます。

最近ではご本人の背景情報が得にくいというのも難しさのひとつです。もちろん検査をしますが、それだけで診

精神科と老健があるのは 当法人の強み

断をつけられるわけではないからです。当法人の場合には認知症の専門医が外来を担当しています。入院については、専門医の診断を経て、救急や急性期担当の医師たちが主にBPSD^{※1}の緩和に当たっています。

司会 ● 救急・急性期では高齢の患者さんも多いですか？

入澤 ● 約25〜30%は認知症関連の方です。

司会 ● 新型コロナウイルスの影響は？

入澤 ● 認知症の高齢者の方がデイサービスに行けなくなったなど、自宅にいる時間が増えたことによる影響はあったと思います。からぎステーションもデイサービスができない時期があった大変だったでしょう。

稲津 ● そうですね、ご高齢の方が一人で過ごす時間が長かったため、その期間に不安が高まったりADL^{※2}が落ちたりは問題になりました。5類に移行したとはいえ、感染症そのものが変わったわけではありませんし、施設内の感染対策は引き続き緊張感をもって行っています。

司会 ● 施設の行事は再開していますか？

稲津 ● ケアマネージャーの方をお呼びして施設見学や座談会を予定しています。敬老会や施設独自の夏祭り、文化祭などイベントを何らかの形でやろうと思っています。

認知症に特化した リハビリテーション

司会 ● からぎステーションの認知症に特化したリハビリテーションとはどういったものですか？

稲津 ● 利用者の方の在宅復帰・支援を実現する認知症ケアの中核施設として心身の機能維持・回復に当たっています。入所者へ「シナプソロジー」や「くもん学習療法」のプログラムを活用して身体および生活リハビリテーションを行っています。短期デイケア「いきいき倶楽部」という通所サービスにも力を注いでいます。

※2 ADL(日常生活動作)

日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作で「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」動作のこと

※1 BPSD(行動心理症状)

周囲の不適切なケアや身体の不調や不快、ストレスや不安などの心理状態が原因となって現れる症状

精神科病院と老健の連携

司会 ● 精神科病院と老健の連携は？

入澤 ● 精神科病院と老健があるのは当法人の強みでもありません。

からぎステーションは設立当初から認知症専門で介護に力を注いでおり、歴史もあります。入院前から寝込んでしまっている高齢の患者さんは筋力も落ちていますが、退院されたら老健でリハビリをしっかりしていただいで、施設やご自宅に帰ることができればと思います。

ただし、高齢者はこちらが思い描いた通りに順調な経過をたどって回復するのが難しいところもあります。一進一退することも多いようです。

稲津 ● 地域包括ケアの中で選択肢の一つとして、精神科と当施設を上手に活用いただいで環境や薬の整備をしていただければと思います。

ケアマネージャーさんにとっては、どれくらい困ったから精神科に相談すればいいのかわからないケースも多いかもありません。認知症のケアプランも難しいものです。ADLがしっかりしている方でBPSDが激しい場合には「入院」や「薬の調整」を精神科病院に相談していただきたいですね。

司会 ● ケアマネージャーさんに伝えたいことは？

入澤 ● 認知症周辺症状でお困りの時は、まず電話でご相談いただき、ケースによっては入院していただいで、ご期待に応えられる役割を果たしたいと考えています。

医療機関にあっても、お互いの施設のことをよく知らないことが多いと感じます。私たちも地域で生活している患者さんの様子が完全にわかっていないわけではありません。これからは、もっと会議や交流の場を設けてさらにお互いの理解を深めたいですね。

稲津 ● 以前は精神科に入院したら退院しづらいと言われ

地域包括ケアの中で 上手に使っていただければ



介護老人保健施設
からぎステーション 施設長
稲津 佳世子
心療内科医、精神科医、日本医師会
認定産業医、日本社会医学系専門医、
日本社会医学系指導医、福岡市ひとり
親支援センターこころの相談員

ていまして、今は短期の入院で退院し、ご自宅や施設でスムーズに生活できるようになるケースもたくさんあります。そういうことも、多くの方に知っていただければ、そして当施設を、認知症以外の方にもリハビリ施設として使っていただきたいです。また、今年はじめ、施設に入所していた方の看取りをさせていただきました。今後は可能な範囲で看取りもしていきたいと考えています。

最近「高齢者の自立」という言葉も耳にします。自分で何でもできるようにすること。でも自立に必要なのは「頼れるところ」をたくさん持つておくことです。「早く人に上手に頼る方法を習いましょう」ということだと思っています。

当施設で「自立の練習」をしていただいで、人生の最後まで、その方らしい尊厳をもった生き方をしたい。できたと切に願っています。私たちはそのためのサポートを惜しみません。



介護老人保健施設
からぎステーション

介護保険法に基づく公的な介護施設で、初期費用や月々の費用負担が少ないのが特徴です。常勤医師をはじめとする各専門職が多角的にサポートを行います。認知症専門リハビリテーションや認知症予防にも力を入れています。

サービス内容

入所・短期入所
(ショートステイ)

通所リハビリテーション
(デイケア)

いきいき倶楽部
(短時間デイケア)

〒814-0171 福岡市早良区野芥5-6-38 TEL.092-871-8778 FAX.092-863-2782

精神科・内科
油山病院

当院では地域の先生方のニーズにお応えできるよう治療プログラムとサポート体制を整えています。ご相談やお問い合わせは地域医療連携部までお気軽にお電話ください。

油山病院の治療とサポート

- 精神科急患対応
- クロザピン治療(保険適用)
- パーソナル障害の方の入院治療プログラム
- 高齢者の入院治療と、併設からぎステーションでのリハビリテーション
- 光トポグラフィー検査(保険適用)
- 通所 精神科リハビリテーション
- 在宅支援 精神科訪問看護

油山病院 地域医療連携部 TEL.092-871-2261(代)

